

ニセコをつくる 3つの将来像と10の目標

支えあう『共感資本社会』をつくる。

共感資本社会とは、相互扶助（お互いを尊重し、助け合うこと）を基本とし、人々の暮らしを大切に、共感の連鎖による人と自然に優しい社会をいう。

I 資源と経済が循環する SDG s 未来都市ニセコ

○信頼される農業のまち

国営農地整備事業による生産性の向上を図るとともに、スマート農業を推進し、安全安心なクリーン農業のニセコをつくる。

○活力ある経済システムのまち

観光リゾートと農業や商業が連携し、地域経済が循環・自律する、住む人と暮らしに優しい共感資本社会のニセコをつくる。

○水環境を保全するまち

森林を育て活かし、水道水源や地下水を保全、地球環境負荷を低減させる環境モデル都市ニセコをつくる。

II 人の力が発揮され笑顔が広がる 心温かなニセコ

○子どもの人権が大切にされ、安心して子育てができるまち

子どもの教育環境の更なる充実と、遊び場や居場所を拡充し、子育てしやすいニセコをつくる。

○高齢者を大切にするまち

高齢のみなさんを敬い、孤立しないよう支え合う、心温かなニセコをつくる。

○地域の医療を守るまち

健康を保ち、安心して住み続けられる医療・福祉が充実したニセコをつくる。

○災害への備えを怠らないまち

消防・救急・災害への対策を整え、いのちと暮らしを守るニセコをつくる。

III 町民のみなさんが自ら考え行動する元気なニセコ

○お互いを尊重し相互扶助の輪が広がるまち

頑張る人を応援しまちを盛り上げる、多様性に富んだ楽しいニセコをつくる。

○雇用の場を増やし、暮らしを守るまち

ものづくりや内発的な産業を育てるとともに、ニセコのまちづくりに共感する企業の誘致に努め、雇用と暮らしを守るニセコをつくる。

○公正で効率的な自治体経営を実践するまち

情報の共有化を進め、自由闊達にチャレンジ、未来に持続するニセコをつくる。

□まちづくりの目標

- ・気候変動に対応し、将来に持続する水道水源の確保と水道管路の耐震改修の促進
- ・地球温暖化防止対策（ゼロカーボン）並びに環境モデル都市アクションプランの促進
- ・SDG s 未来都市計画の推進とSDG s 街区の整備及び支援
- ・国営緊急農地再編整備事業の早期完了とスマート農業・クリーン農業の推進
- ・こどもに優しいまちづくりの推進、子育て環境の拡充と子ども医療費無料化の継続
- ・ニセコ高校寮の整備促進とニセコ高校の将来像の確立
- ・重点道の駅・防災道の駅指定（国）の道の駅「ニセコビュープラザ」の大規模改修
- ・傷みの著しい町民プールの整備
- ・森を育み木材の域内循環を図る林業地域商社の設立
町民参加型の森づくりの推進
- ・慢性的住宅不足解消のための住宅政策の強化
- ・共感資本社会づくりの一方策である新地域通貨（共感ポイント）の導入
- ・持続する財政基盤の確立と自律した地域循環共生型社会（資源・エネルギー・経済）の
「共感資本社会」への取組み強化
- ・「日本国憲法」と「ニセコ町まちづくり基本条例」を暮らしに活かす

□予算編成にあたって

総合計画をはじめとする各種計画に十分留意し、予算編成をお願いします。

ニセコ町の将来を俯瞰し、事務事業の改革、必要な行政コストと行政ロス（無駄）を見極めて予算編成をお願いします。

SDG s 未来都市、環境モデル都市、地域循環型（資源・エネルギー・経済）づくりに十分配慮願います。

公共の3原則（＝公正・公益・公開）に配慮し、予算編成に努めてください。

関係機関・関係者との協議を行い、予算提案熟度を高めるよう配慮願います。

縦割り主義、前例主義を排除し、情報共有を基本として、関係部署連携して予算編成を進めてください。

事務事業費の多額なものや重要な予算については、速やかに副町長との事前に協議を終えてください。